

令和 6 年伊賀市議会 6 月定例会

請 願 文 書 表

令和 6 年 6 月 4 日

1 受 理 番 号	請願第24号
2 受 付 年 月 日	令和6年5月21日
3 請願者の住所 及び氏名	伊賀市印代97 伊賀地区退職者連合 稲森 眞文
4 請 願 の 件 名	国に健康保険証の存続を求めることについて
5 請 願 の 要 旨	マイナンバーカードに健康保険証を組み込んだ「マイナ保険証」の普及のため、2024年12月2日に現行の健康保険証を廃止することが決まりました。 しかし、「マイナ保険証」に関しては、窓口で無効と判断されたり、他人の情報がカードに紐づけられたケースが判明するなど、国民の健康や生命に重大な影響を及ぼす恐れのある深刻な問題が顕在化しています。 また、認知症高齢者をはじめとするデジタル弱者にとっては、家族等の手助けがあって初めてマイナンバーカードを申請、取得でき、さらに暗証番号の管理、診察の度にマイナ保険証を持参する必要があるなど、取得、管理が容易ならざるところを踏まえると、拙速な一本化は、健康保険証を持つことができない「保険証難民」の発生さえ危惧され、今後に禍根を残しかねない状況にあります。 以上のような理由から、現行の保険証を存続させて、現行の保険証とマイナ保険証の選択制を打ち出していた原点に立ち返り、下記の事項について求めることを盛り込んだ、「健康保険証の存続を求める意見書」を国の関係機関へ提出していただくよう請願します。 【記】 1. マイナンバーカードと一体化されたマイナ保険証の取得は、申請者による任意の判断に基づくとの原則を明確にすること。 2. マイナ保険証に対する国民の不安が払拭されるまでは、現行の健康保険証を存続させること。 3. 認知症や高齢者、要介護者などデジタル弱者に配慮した制度とすること。
6 紹 介 議 員	山下 典子
7 付 託 委 員 会	総務常任委員会